京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年 紀元二千五百七十一
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月金一圓八十錢▲一ケ年金三圓
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久卯一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地 東京支局

[illegible]

京城居留民團公文

京城居留民團立高等女學校學則（二）

第三章 學年學期及休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス即左ノ如シ

一、第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日迄
一、第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日迄
一、第三學期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日迄

第九條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、祝日、大祭日
一、日曜日
一、春期休業 自三月二十五日至四月五日
一、夏期休業 自七月二十一日至八月三十一日
一、冬期休業 自十二月二十九日至一月七日

第十條 傳染病豫防ノ爲必要アルトキ又ハ其他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲シ其旨監督官廳ニ屆出ツヘシ其他ノ場合ニ於テ臨時休業ヲ爲サントスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第四章 入學及退學

第十一條 本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十二條 入學志願者ハ左記書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

入學願書

本籍府縣郡市町村番地 族籍
誰何女（或ハ姉妹等）
氏 名
生年月日

右ハ御校（何）科（本科ナラハ第何學年）ヘ入學致サセ度候ニ付御許可相成度別紙履歷書相添ヘ此段相願候也

年 月 日

本籍府縣郡市町村番地 族籍
現住所
右父（或ハ後見人等） 氏 名印

京城居留民團立高等女學校長 氏 名殿

履歷書

本籍府縣郡市町村番地 族籍
誰何女（或ハ姉妹等） 氏 名印
生年月日

一、何年何月ヨリ何地何學校ニ於テ何學年修了又ハ卒業或ハ某ニ就キ何々修業等
一、何年何月ヨリ何年何月マテ何地何學校ニ於テ何々ニ付何賞又ハ何罰ヲ受ク
一、其他學校ヨリ要求シタル事項

右之通ニ候也

年 月 日
右 氏 名印

第十三條 本科入學ノ許可ヲ得タルモノハ左ノ書式ニ依リ在學證書ヲ學校長ニ差出スヘシ

在學證書

本籍府縣郡市町村番地 族籍
現住所
誰何女（或ハ姉妹等） 氏 名
生年月日

右者今般御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ保證人ノ責ニ任シ御規則ヲ遵守セシムヘキハ勿論 [illegible] 事件ハ保證人共ニ於テ引受ケ [illegible] 此段保證候也

年 月 日

本籍府縣郡市町村番地 族籍
現住所
右父（或ハ後見人） 保證人 氏 名印 生年月日
族籍職業
保證人 氏 名印 生年月日

京城居留民團立高等女學校長 氏 名殿

●東京たより

●外交不振の嘆聲は未だ曾つて吾人の耳朶を離れたることなき始終不斷の叫びに御座候、ポーツマス以來、滿洲諸問題、米國移民問題、對露諸問題など數へ來れば、此の嘆聲絕えざる亦強ち不思議には之れあるまじく候、但し此等數多き問題の中には當局の苦心さこうと思はるゝもの、又りの功勞も認め得べきもの全く之れなきに非ざることだけは爰に之を斷言するに躊躇せざる所に候。

●近頃、聞く所によれば、我外務當局者は滿洲に於ける清國兵士並に巡警の暴行問題につき趙總督より逆捻を喰ひ却つて日本人の匪行を示摘されたる由にて、彼の撫順及び橋頭堡事件の殘存問題たる償金は之れが爲め差引勘定の上より相殺して零と爲り終るべしとの說わり、果して然るや否や、遽に判すべからざるも、日露戰役後滿州に於ける趙將軍の我に對する態度の如何にも強硬にして、其應酬亦頗る峻烈を極めし事を思はゞ、今回の事件につきても此位の事はやり兼ねまじく想像致され候●日露戰役後滿州の狀況は僅かに前門の虎を防ぎて、新たに日本の進擊を受けたるが如くなりしにも拘はらず、米獨以下の諸國も今日の如くに淸國との交情濃かならざれば、自然孤弱援なき有樣なりしに、趙將軍は毅然として屈する所なく屢々奉天駐在の我總領事を惱まし、我外交上に支障を與へたることは今尙世人の記憶に新たなる所なるべく候、然るに其後局面漸次に改まりて、米清兩國間の握手を現はし獨逸も亦頻に清國の歡心を得るに汲々たり、ついで英佛兩國も亦自個の利益よりして清國に接近するの傾きあり、恰も獨り娘に婿八人の譬への如く、大持なるに、特權さるゝ有樣なれば、左なきだに強硬なる趙將軍が更に一層強硬の度を加ふべきは怪しむべきにあらず候、されば撫順橋頭事件なきに對しアベコベに逆捻を我國に喰はせる杯は尋常茶飯事となせられ候。

◎それに又今日日本の列國に對する地位狀況を推想するときは、露骨にいへば日英同盟以外は四海皆敵國の觀なき能はず、隨つて外交上の懸引自由ならざるは勿論の事にて候、清國との交涉問題の如きも、彼れに七分の強味あり我に三分の弱味あるを免かれず候へば、滿洲に於ける現在未來の諸問題につきて、今後永く外交不振の叫を聞くべきは必然なるべく候。

◎斯る狀況なれば、獨り滿洲問題に限らず、對米對露の諸問題につきても我が外交は當分決して功を收めまじく候、唯々大手腕ある人物の外交局面に登場するの日を待つの外之れなかるまじく、目下の霞ケ關に向ひ餘り多くを嘱望するは、結局失望の種なるべく候。

●鎭海灣經營會社

京晉 鎭海灣聯合組合は鎭海灣縣洞市街地借用ハ認可を得たるを以て今回星野錫氏等發起となり資本金百萬圓を以て土地を所有し家屋を建設し之を賃貸若くは賣買し且物品の賣買又は委託販賣をなすの目的にて東京實業株式會社を創立し近日其計畫を發表する由

●滿鐵營業成績

去十七日東京にて開會せる滿鐵會社第九回株主總會に提出せられ收支決算左の如し

●●●●當期總益金 一五三六、四四三圓 內譯、一〇〇七六、八三七圓鐵道收入▲一六二、六九九圓船舶收入▲三、五三〇、九四九圓鑛業收入▲七三九、二四七圓港灣收入▲一二三、九七九圓地方收入▲一〇五、四六四圓旅館收入▲三九、九九七圓瓦斯收入▲四一五五二圓雜益▲一五、一一七圓利息收入

●●●●當期總損金 一二二九一、一一九圓 內譯、三五二七、三〇七圓鐵道費▲二四七、五七八圓船舶費▲二四八七、八九七圓鑛業費▲六八四、〇一六圓港灣費▲四七九、一一七圓地方費▲七一八、五三三圓臨時防疫▲一五九、四四二圓旅館費▲二六六、二八〇電氣費▲二九、八〇七圓瓦斯費▲五七三一六圓雜損▲八五二、五四〇總体費▲二六、一一、六〇二圓社債利息▲一六九、六六八圓社債發行差額償補金差引

●●●●當期利益金 三〇七五、三二四圓

右の計算を前年度の成績に比すれば純益金に於て二百十四萬圓を增加せり

●韓銀の發行高

六月十一日より十七日に至る間の銀行券總發行高は二千百四十九万一百圓にして正貨準備發行高は七千八十万五千四百二十九圓保證準備發行高は千三百六十八万四千六百七十一圓也

●雨の朝

水村生投

此の調子では明日の日曜も雨だ哩、と思つて空を見上げる顏にボッツと來る、明日所ぢやないモウ降つて居るのだ、何故日曜・云ふと斯うも意地の惡いものだらう、と一寸浮世を悲觀して見る、ボッツ／＼であつた雨はサーサーと音を立てゝ對うの亞鉛屋根に明瞭に雨脚の繁きを見せる、明日は何う仕樣と考へるが一寸甘い考へも浮ばぬ、ヤ、ヨと棄し鉢に飯を濟ませて横になる、喧ましから如程の雨の音に何時とはなしに引き入れられてウト／＼と眠つて終つて、眼が覺める未だ薄暗い雨はシト／＼と降つて居る鼠色の雲が低う垂れて鬱陶しい、徐ろに起き立てゝ茶の間を通く、とワアーンと降り籠められた蠅が一時に舞い上る、急いで戶を押して外へ出ると二坪程の花畑が眼に入る、今日の雨も無駄ではない一つ草花の苗を移植しようと考へ付くと急に氣も心も晴々しい、シト／＼と降る雨の音が快く耳に響く、同じ雨でも其人の境遇と事業とに依つて鬱陶しくも快くも感じられるのだと云ふ事を適切に感じた。



召使れ初

黑法師

第八十二回

奥方は聞くともなく、三の間の話聲に耳を傾けぬ

「れほゝゝゝ、れほゝゝゝ」

忍びやかに、堪ね兼ぬる樣に、然も人々一齊に高笑ひして、少時は鳴りも止まざりき、れ久今彼の艶書を讀み終りし處なり

「れ三の間、れ聲高うござるわよ、ちと靜に爲されぬかよ」

と叱るやうに云ふは相生なり、れ久は兩手に腹を押へつゝ

「相生樣れ關ではござりまするが喃、これはかりは笑はずには居られませぬ、れ殿樣御寵とは存じながら……どうしても堪らられいで……れほゝゝゝ、れほゝゝゝ」

「はての、それほどに可笑しい事、何を御覽なされたの、れ殿樣御不例、万一どの御機嫌の種になるまいかの」

「いや／＼」とれ住は遮つて「上樣れ目にかけるものではござりませぬ、けれど文言が可笑しうて……れほゝゝゝ」と云ひかけて笑ひ轉けぬ

「何かは知らぬ、それで上樣れ慰みをり見ることと難きたら、うなた大した手柄ぢやわの、まづそのれ手紙をこれへ見せや喃」

「れ住さま、どういたしたものでござりませうな、この文言の樣子ではやつはり中年寄れ進さまへ參らせたお文の樣に見わすするがな」

「も、れ道さまへ………」とれ住の答へせぬ中に相生は聞き咎めて

「……媚かしいれ文が來たど………どれ／＼見せや」

相生は膝を進むること一尺なりき

「れ廊下に落ち散りわつたのでござります、あなた方御覽遊ばすものではござりませぬ」とれ久は手紙を袖に秘して、突然に座を起たんとす

「これ／＼」と澤野は往方より呼び止め「相生どの御所望とあるでないか。何故れ目にかけやらぬ」

「はい」とれ久はもぢ／＼して「けれどこれは………」

「何ともあれ、私が吩咐くる、相生どのれ手へ渡すぢや」

實に鶴の一聲なりき、れ久は故意と恐れ入りたるやうに見せて、恐る／＼相生の手へ渡したり、相生は一目見て

「こりや何うぢや、こりや案外、やはりれ道どのへ宛てゝある」

「れ役柄にも似合はず、殿方へ戀の手紙附答を爲されある氣なれ家御法度、相手は何者れ文の文言、うなた等殘らず讀んだぢやな」

「れ讀さまた手紙とは存せず、只今これにて拜見致したでござります」



「什麼樣事認めわつた」

「相手はれ出入御用聞海老屋 傳兵衛悴徳右衛門とござります」

「りの徳右衛門どれ進どのど、不義の約束どもなされてあるぢやな」

「媚かしい事ども認めござりまする、以に聞くところ、近々れ上れ側へ上らせの樣にも聞く、假し主命とはござらうも、一たん約束を反古になされては、神々へも濟ませられまいろもじ樣れ心へも濟ませられまい、ろもじ樣の二らせある日、我身命の終る日と御覺悟、人の恨みの恐ろしきを思はせられ、戀に泣きつゝれ便りを待つ身の辛さは、まことに腸を絞るやうたはーまするど、それは／＼口に巾つて申上げも露り難ぬる白痴けたこと認めわつたでござりますど、れ久は明白に云ひ終る

相生は憫れ顏なりき、澤野は相生の手にせる異しき手紙を密と見つゝ

「れ顏にも似ず、大うれたことなさるのう」

東京電報（二十日發）

●東宮と王世子 皇太子殿下には十九日午前十時李王世子を[illegible]久々にて鳥井坂御用邸に御[illegible]見舞の御挨拶[illegible]御物を賜はり[illegible]

●東宮藤公邸行啓 皇太子殿下には二十一日前十時御出門大森の伊藤公邸に行啓あらせらるゝ旨御沙汰ありたり

●故大島男光榮 故陸軍[illegible]正三位勳一等男爵大島[illegible]氏生前の功勞を思召され[illegible]今廿日午前十時勅使として侍從を差遣せられ[illegible]白絹を賜はりたり

●大島男嗣子赴任 大島[illegible]の嗣子[illegible]は今回[illegible]として本月中に赴任の途に上るべし

●井上氏の昇敍 無任所[illegible]井上[illegible]は去る五日[illegible]

●皇族と濟生會 各皇族方に於かせられては濟生會に對し[illegible]御決定の筈なりと云ふ

雜報

●本月上半期朝鮮貿易 總督府調査に係る本月一日より同十五日に至る上半期に於ける朝鮮貿易額を聞くに輸移出額は九十六萬四千[illegible]圓輸移入額は[illegible]圓にして之を前年の同期に比すれば輸移出に於て[illegible]輸移入に於て三十七萬四千六百二十六圓[illegible]四十万一千二百四十六圓の增加を見たりと

●日韓併合紀念章 日韓併合に關し直接間接勞務ありたる者に對しては併合紀念章を下賜せらるゝ由にて其種類は金、銀、銅の三種に分ち目下賞勳局に於て製造中なりと

●北鮮生牛の保護 由來咸鏡南北道に於ける生牛は其の體格の大なると性質の溫良なるとに依り使役又は食用向にも適し朝鮮全道に於ける[illegible]三十六萬[illegible]以來年々輸出增加一方のみにして一方に於て生牛減ずるの恐れあり[illegible]當局者と同議[illegible]の間に協議一決[illegible]始されたる恩賜授產金の一部を資とし[illegible]に貸付し耕牛に購村をなすべきものに保護金を與へて殖種蕃[illegible]ありと云ふ

●紀念章と調査 日韓併合紀念章を下賜さるべき人員は約三[illegible]萬人に上り其の內朝鮮人の分は[illegible]に於て秘密に調査中に[illegible]は極めて少數の人に限りなりと

●漁業の免許處分 五月中に於ける漁業の免許處分數は合計[illegible]件にして其內譯は內地人四十[illegible]二件、日鮮人共同一[illegible]不免許處分を爲したる[illegible]件にして其內內地人[illegible]六十四件なり

●土木補助費 內務部にては本年度土木補助費分配に就て[illegible]の意見を聽取中なりしが[illegible]夫々意見書[illegible]何れも三萬圓乃至五万圓[illegible]三十萬圓より[illegible]にて再び內務部より詮計中なるが其の費途の多くは[illegible]に用ゐるものにして本年[illegible]全道を通じて約二十七萬圓[illegible]其他は緊急の場合に臨時に充てる方針なりと云ふ

●森林令の發布 二十日制令第十號を以て發布されたる森林令の全文は左の如し

第一條 朝鮮總督は國土の保安危害の防止水源の涵養航行の目標公衆の衞生[illegible]風致の爲必要ありと認むるときは森林を保安林に編入することを得

第二條 保安林に於ては地方長官の許可を受くるに非ざれば森林の手入に非ずして[illegible]伐採若は開墾を爲し、土石、樹根、草根の採取し又は放牧を爲すことを得ず

第三條 朝鮮總督は公益上必要ありと認むるときは森林の所有者又は占有者に對し[illegible]方法を指定し又は造林を命ずることを得

第四條 朝鮮總督は林政上必要ありと認むるときは森林の所有者又は占有者に對し[illegible]方法を指定し又は造林を命ずることを得

第五條 朝鮮總督は第一條の目的の爲必要ありと認むるときは保安林以外の森林の[illegible]禁止又は制限を爲すことを得

第六條 國有森林にして國土保安の爲國有として保存するの必要あるもの又は公用又は公益事業[illegible]場合を除くの外之を賣[illegible]することを得ず

第七條 [illegible]は造林の爲國有森林[illegible]るものに對し事業成就して其の森林を讓與[illegible]

第八條 [illegible]に入會の慣行ある地[illegible]其の入會の區域を指定することを得

第九條 朝鮮總督は前條の地元住民に對し其の入會區域に造林を命ずることを得

前項の命令を受けたる者事業成功したるときは其土地を之に讓與することを得

第十條 朝鮮總督は地元住民をして國有造林の保安をなさしめ報酬として其の產物の一部を之に讓與することを得

前項造林の保存に付ては地元住民連帶にて其の責に任ず

地元住民故意又は重大なる過失に因り森林に損害を生ぜしめたるときは之を賠償せしむることを得

第十一條 朝鮮總督は公用若は公益事業の爲又は移民團體の用に供する爲必要あるときは國有森林を讓與することを得

第十二條 國有森林の讓與を受けたる者其の讓與の條件に違反したるときは之を返還せしむることあるべし

前項の規定に依り返還せしめたる場合に於ては其の森林上に設定したる第三者の權利は消滅す

第十三條 朝鮮總督は左の各號の一に該當する場合に於ては國有森林の產物を讓與することを得

一 公用又は公益事業の爲必要あるとき

二 非常の災害ありたる場合に於て其罹災者に建築修繕の材料又は燃料を供給する爲必要あるとき

前項に規定するもの外森林手入の爲め使用したる地元住民に對し報酬として其採取したる產物を讓與することを得（未完）

●森林令施行規則 二十日總督府令第七十四號を以て森林令施行規則を定められたり

●定例長官會議 二十日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督、倉富、石塚、荒井、宇佐美、小松の各部長官、明石警務總長、池田遞信局長官、小城鐵道局長代理、俵副總裁列席政務の打合せを爲し同十一時半散會したり

●山縣總監歸期 東上中なる山縣政務總監は二十一日午後三時四十分新橋發、途中鄕里に滯在二十五日迄に歸任する由

●軍司令官巡視 既報の如く大久保軍司令官には二十日午前九時南大門驛發大邱及馬山巡視の途に就きたり

●藤井次長入京 海軍軍令部次長藤井中將は昨十九日入京外波少將官邸に滯在中なるが當地には二三日滯在すべしと

●甲山の農事獎勵 甲山憲兵隊にては一般人民の遊惰の風習を矯正し且つ農事思想を涵養せんとて各分遣所の附近に模範農場を作り地質氣候に適する陸稻、水稻、麥、粟、牧草等數十種の種子を內地より取寄せ面里長及老農等に若干の種子を分與し模範園の耕作法により播種せしめ居れるが何れも大なる興味を以て之を迎へ或は數里の遠きより種子の分配を願出づるあり殊に牧事に就ては最も深き感を有し居れるが如しと

●全南の貧民救濟 全羅南道潭陽郡地方は本春來米價騰貴し資產家は益々米價の騰貴を見越して所持米を放賣せず細民の生計困難なるを以て同郡守は先日邑內の資產家を集め目下の情況を說き當分の內開市日毎に白米二十一石宛を出市販賣すべき事を協議したるに何れも之れを承諾して老幼婦女に至るまで遍ねく購買し得るに至れりと

●慶北諸川の增水 去る十七日の豪雨にて慶尙北道の各河川は出水甚しく就中淸河、盈德間の如きは郵便其他の交通杜絕したる個所多しと云ふ

●公州鳥致院間交通杜絕 忠淸南道公州鳥致院間に於ては大雨のため錦川の橋梁破損して車馬の交通杜絕せり

●宿泊及び居住規則 總督府令第七十五號を以て宿泊及居住規則を發布されたるが旅店其他營業に依り他人を宿泊せしめたる者は二十四時間內に其他一戶を構へて居住し又は一戶を構へざるも二十日以上居住の目的を以て同一府郡內に居住する內地人及外國人は自己及其携帶の家族に關し又居住者一戶を構へさる場合には之を寄寓せしめたるものゝ悉く屆出づべき事其他移轉等に就き屆出をなすべく規定されたり

●北韓新聞發行停止 二十日發行の北韓新報は治安を妨害するものと認められ該紙頒布禁止發行停止を命ぜられたり

●日本及日本人の禁止 本月十五日發行の日本及日本人は治安妨害の廉ありと認められ十九日朝鮮に於て其の發賣及頒布を禁止されたり

●柴田總裁の入京 平安南北道を視察中なりし柴田拓殖局總裁の一行は十九日夜入京したるが四五日滯京すべしと云ふ

●鈴木司稅局長の歸任 鈴木度支部司稅局長は廿一日午後八時十分着の列車にて歸任すべしと云ふ

●海老名氏の來京 基督教界の名士海老名彈正氏一行は愈々來る二十一日午後八時南大門驛着の豫定にして二十二日は市青年會の講演會に臨み二十三日夜は鐘路青年會にて講演をなし又京城教會の演說會は二十七日より七月二日迄なりといふ

●中村錦城氏の辭職 咸北道書記官中井喜太郎氏は今回宿痾のため依願事務官を免ぜられたり

●菊地民長の歸任 大邱民長菊地謙讓氏は二十日南大門驛發歸任したり

●土屋課長の歸任 土地調査局測量課長土屋工兵大佐は元山方面出張中の處廿日午前歸任したりと云ふ

●民會諸議委員附託 京城居留民團民會は昨十九日午後三時より民團役所樓上に開會されたるが左記重要議案は何れも委員附託と決し委員は今廿日の民會に於て選定する筈

第二號 櫻井小學校增築の件

第三號 龍山線路の二ヶ所に學校新築の件

第四號 高等小學校を新築小學校に併置の件

第五號 鐘路南大門小學校敷地買收の件

第六號 起債に關する件

●二部教授案可決 十九日の京城居留民團民會に附議されたる小學校二部教授案は大多數を以て可決確定したり

●技藝學校補助可決 湖崎喜三郎氏の經營に係る旭町一丁目の私立女子技藝學校及幼稚園に對し京城居留民團より補助金を與ふるの件は十九日の民會に附議されしが原案に修正を加へ年額千二百圓の補助を與ふる事に大多數を以て可決確定したり

●京城民團內家屋異動 京城內に於ける去五月中の家屋異動を聞くに內地人が鮮人より買入れたる家屋は九十二棟にして鮮人が內地人より買入れたるものは二十九棟なり又內地人の新築せし家屋は五十五棟にして內地人の解撤せしものは三十八件なり這は民團管內に關する調査なりとす

●和泉艦仁川入港 軍艦和泉は廿日正午十二時仁川に入港し久水府尹岩崎民長等同艦を訪問し仁川民團に於ては例の如く乘組水兵に對し湯札二百枚を贈呈し尙日本公園地に於て茶菓の饗應をなすと云ふ因に同艦は廿二日仁川在留英人擧行の英國皇帝戴冠式祝典に參列すべき筈なりと

●仁川消防隊の演習 仁川常備消防隊にては二十一日午前九時より日本公園地內に於て消防の演習を擧行せり

●國有未墾地の貸下 客年十月以降京畿道管內に於て國有未墾地の貸下許可を得たるものは四件にして內鮮人三名內地人一名にして其目的は植樹、畑、田等にありて這は成効の曉に於ては本人に附與する筈なりと

●軍人會事務所 十八日發會式擧行の京城在鄉軍人會支部事務所は京城憲兵第一分隊內に設置せり尙近日中支部並分會の評議員會を開催し規約財產管理規程其他に付き字句の訂正を始め事務上の打合をなすと

●二將の醫院參觀 來京中の藤井海軍軍令部長及び秋本中將は二十日總督府醫院を參觀藤田院長の案內にて院內の諸設備を視たり

●監獄內に傳染病 本月旬初來永登浦監獄署に傳染病（病名不詳）發生し昨今既に十數名に達し尙ほ續々增加の模樣なるを以て二十日司法部刑事課長擇林五郎氏は同署へ出張 監獄醫立會の上救療を講ずべしと

●新築の麻浦普通學校 前日開校式を擧行せし公立麻浦普通學校は其翌日より授業を開始したるが目下生徒は七十餘名を收容し居り新築費は約八千圓を投じたるよし

●法聖浦近海漁況 五月中に於ける全羅南道法聖浦近海は石首魚の最も多く集散せる期間にして一般の多忙を極め埠頭に設けある乾燥場に間隙なく鹽漬にせる石首魚の掛干をなし遠くこれを望めば恰かも棉布を晒せる如き美觀を呈せしが乾燥場一ヶ所約八百尾を製造し其過半は京城平壤等に輸送せられ又た生魚を氷藏して運送船五隻に積載し之れ又京城平壤等へ輸送せり同漁業は昨年より豐漁を見たり次ぎに鯛は從來七山海に見受けざりしも本年初めて其漁獲を見るに至り法聖浦を假根據地とせる內地人アコフ漁船十餘隻は日々同漁に從事し活洲船に依り神戶大坂等へ輸送しつゝあり尙は之等漁船は九月上旬迄同漁を繼續し其後は釜山近海へ移り鯛漁を爲す筈なりと尙は鯖漁に從事せる內地人漁船十餘隻は來る六月上旬より忠淸沿岸へ移轉するの例なり因に五月中法聖浦市場に取引せられたる魚類の總價格は約四萬六千三百餘圓にして主なる種類は石首魚、鱸、鮃、大刀魚、鯛、ハモ、ヒラ、鯖、蝦、烏賊等なるが漁船一隻內地人、漁獲最高八百圓最低三百圓鮮人の最低十五圓乃至廿圓漁船數は鮮人九十隻內地人香川縣十一隻、廣島縣十隻等にして漁場は七山海及び法聖浦灣內等なり

●梨津輪城の漁況 北韓梨津灣本年の鯖漁は近年稀なる豐漁にして昨今漁獲を食料品として捌き切れず肥料として賣買しつゝありと尙ほ同地輪城川下流の鯡漁は近來非常なる豐漁にして昨今の賣買價格は實に朝鮮桝にて一斗一錢の相場なりと云ふ

▲京城手形交換高▼

六月二十日	金高	枚數
公 人 私 人	一〇六、七三五、〇〇	六一八

▲中村良三（海軍少佐）十九日巴城館
▲柴田家門（拓殖總裁）同上
▲立花俊吉（秘書役）同上
▲長野武一（醫師）同山本旅館へ
▲水谷千萬吉（海軍大佐）十九日平壤行
▲吉川岩喜（業務課長）同上
▲合田平氏（陸軍一等軍醫）同釜山行
▲岩瀨靜（大邱民團議長）同大邱行
▲川上常治（理事）同平壤行

▲仁川港出入船舶▼
△溫州丸 二十一日大阪より入港
△隅田川丸 同 長崎より入港
△土佐丸 同 大連へ向出港
△吉長丸 同 大阪へ向出港
△溫州丸 同 安東縣へ向出港
△蒼龍丸 同 芝罘へ向出港
△隅田川丸 同 大連へ向出港

●大坂期米電報
●二十日前場 六月當十七圓二十六錢▲止十七圓二十五錢▲七月當十七圓四十五錢▲止十七圓四十五錢▲八月當十七圓五十一錢
●二十日後場 六月十七圓[illegible]▲止十七圓四十九錢▲七月十七圓[illegible]▲八月十七圓四十七錢

●仁川米豆取引所
●二十日 六月出來不申▲七月出來不申▲八月當十一圓四十錢▲最高十一圓四十五錢▲止十一圓四十四錢

●相場電報（明治町四村支店着）

銘柄		十九日（後場）	二十日（前場）
▲神戶電鐵	寄付	三二、八〇	三三、九〇
	引	出來不申	三三、〇〇
▲京阪電鐵	寄付	六〇、三〇	六〇、四〇
	引	六〇、二〇	六〇、五〇
▲鐘淵紡績	寄付	九九、七〇	[illegible]
	引	九九、七〇	[illegible]
▲大阪電燈	寄付	〇三、九〇	〇一、九〇
	引	〇三、四〇	〇三、一〇
▲東京新株	寄付	八七、三〇	八八、三〇
	引	八七、四〇	八八、〇〇
▲大阪株式	寄付	一五、六〇	一六、七〇
	引	一六、〇〇	一六、五〇
▲堂島取引所	寄付	一五、三〇	一五、六〇
	引	一五、三〇	一五、七〇

內地巡遊日記（三） 水浪生

五月十九日、今日は家族の爲に京見物案內の大役を勤めねばならぬ、果してウマク行くかドウか、サテ中々に心配なことだ。一口に云へば家族の案內などは譯のない話だ、ナニ愚圖／＼云つたら叱り飛ばすだけの事だ、併し省みて思へ、叱り飛ばす程なら始めから連れて來ぬ方が良いのだ、で、折角連れて來た程なら滿足させる樣に勉めるのが當り前だ。午前八時朝飯を仕舞ひ、身仕度の出來たところへ、恰も好し誂への車が來た、ヨシさらば出掛けんと朝詣りの格で順路第一に西本願寺へ向かつた。西本願寺を濟まし、次が二條の御城、其次が北野の天滿宮、其亦次ぎが金閣鹿苑寺、特別入場券で應接間へと通つた。サテ案內さるゝ儘に各室を巡覽に及び了つて例の茶室に於て例の船松を眺めつゝ薄茶一服を御馳走になつた、此時此間余は殖民地の人たることを忘れた、ソウして思を室町の盛時に馳せ、能ふべくんば此茶室に於て余の生涯を送りたく思つた、而しソレも束の間、案內者に促さるゝ儘に余等は庭に下りたち導かるゝ儘に步を池中に立てる金閣に移した。余等閣內に入り、三階に登れば案內者例に因つて衣掛山の講釋を始む余白銅一箇を以て彼れが勞を犒らひ、賀すに衣掛山をへ蔽るときに晒布何反を要したるかを以てす、彼れ二の句を發し得ず、少時して曰く旦那樣が此次來らるゝ迄には必ず調べて置き[illegible]と。想起す、余は明治三十九年の一[illegible]或大雪の日に一人で此所へ遊んだ、當時彼の衣掛山は白布を被たずして[illegible]であつた、想起す、金閣寺を訪はんと欲する者は宜敷冬に於てすべし[illegible]を某書に見る、室町の盛時、當[illegible]は時の將軍が外國の使臣を接待[illegible]と、果して面らば明との借款[illegible]の銅錢輸入談の如きも或は此の[illegible]一室に於て交渉成立したるにて[illegible]か、史記さず、口碑傳へず、今は[illegible]に知る由なし、因つて茲には唯金[illegible]潤だけに止む。金閣寺を辭まし、[illegible]走らして御所前に到る、此處は[illegible]御は車を走らし、行く程に、[illegible]る余の感想は書くことも知つて居[illegible]に、茲は京都勸業博覽會の會場[illegible]跡とは云へ中々の賑ひであるのが[illegible]く場內一番の呼物は模造南大門[illegible]ヅリームランドだ、余は余の家族[illegible]に南大門を紹介せんと入場に迫[illegible]

▲茶袋▼ 來年總選擧の下準備[illegible]して地方に黨勢を擴張して置く[illegible]とる、國民黨で犬養總理が福井縣[illegible]掛くれば一方政友會で以尾崎、杉岡、小川なんど一騎當千の面々を神戶に繰込ませた▲ところが政友大坂神戶の演說會はサン／＼に味付けたらしい、雜來とう何千と肚たが其大半は野次り連で流石の杉大岡、小川なんどの連中も八方から冷評罵聲に妨げられて暫くは口がなかつたとか、此有樣を見ると愛人が情意投合なんかとエイ加減な口で誤魔化しをやつてる政友會に愛想を盡してをることが解る▲安南方面に對するヨリ以上であるから之れ國に悅服せざることは、印度人が英つてきたらしい、全体安南土着人が佛不穩の兆候は佛國政府の頭痛の種る佛國の統治策も中々骨が折ると內には例の三種騷動が起り之が爲つて內閣の瓦解を見るやも知れぬとろへ▲西班牙が佛國の嫌つてをる頓着せず摩洛哥に出兵をした、愈々佛西兩國の對峙を見るに至る由來摩洛哥問題は歐洲列國の雌雄を決する勢力となつてをる、さて列國は如何なる態度に出るか、大に注目すべき價がある▲京城民團役所では戶毎に調査票を配付して其に職業其他身分に關する記入をなさしめ提出させる事にした、市勢調査として頗る當を得てをる、之を受けた者は民團の手數を煩はさぬ樣調査票を民團に提出すべしであ[illegible]

▲京龍兩驛の貨客 [illegible]

群山俄道中記

ワ便

六月八日　山陰水神生

水利組合竣工式當日度支部藤原銀行課長と、來賓控所の一室に於て藤井組合長等が雑談の際、其肥大なる体躯を屢揚に寛げながら微笑を含んで語って曰く。

臨益水利組合の竣工を僕は衷心より祝福する、實はね今朝此處へ來がけに一寸廢揺堤の貯水池を見て來たが、イヤどうも其計劃の大膽なのに驚いたね、僕が若しも出來ない前に現場を見たのなら或は金も思ひ切つて出さなかつたかも知れないね。と呵々大笑した、實の處誰れが見ても其計畫の大模様にして決行の勇氣の大膽なのに驚かぬものはあるまい。

中村農務課長は式場に於て臨益水利組合工事の竣工によつて今後産業界に及ぼす有形無形の影響と利益は實に偉大なるものあるべきを確信して疑はず云々といひたる如く、僅々二十五万圓の資金が斯くの如く、有意義に、有利に確實に、機敏に、眞面目に、大膽に、緻密に、適切に、誠實に、使用せられたる實例は、現在の朝鮮に於ては多くあるまいと思はれた。

斯くて云ふべからざる一種の滿足と愉快とを買ひ得て群山に歸つた余は、水利工事の內容と一般農事事情とに就て深刻なる經驗と的確なる識見とを有せる組合長藤井寛太郎氏を其宅に訪ねた氏は但懐余を迎へて謙虚徐ろに語つて曰く。

イヤ今回の組合工事につきましては全く天祐とも稱すべく當初より萬事頗る好都合に進捗しまして容易に竣工を見るに至り局外者の過褒に對し却て衷心恐悦たる次第であります斯くの如き成功は全く當局官憲乃至關係諸人士の熱心なる指導懇援助力に俟つ處多きは申す迄も無く且つ組合內部に於ては川崎理事其他組合員諸君の終始不易一致協力よく協同の主旨に悖らず組合事務に盡瘁せられたる結果に相違ないのであります別にそれとて取立てゝ話しする程の事もありませんが折角のお尋ね且つは又他日或は此種の計畫に從事される人に對し參考の一助にもと思ひますので大体の經過だけをお話し致しませう

と懇切にし趣味深き氏の談話を記するに先だち次便にて組合事業の要項を擧ぐることとする。

訂正　前號ワ便一段末行益山臨陂二郡に跨るの下に「三千町歩の乾田は」を加ふ

悔悟の自白（四）

金波投

不意に深川警察から呼び出しに成つたので何事かゞ驚いて出頭する時までも雛屋の爺さんは妾の傍を離れないので仕方がないから介添人的に連れ立ちて飛んだ牛長右衛門道行きといつた調子で恐る〳〵署に這入つて御掛りの警部さんの前へ罷出ると豈計らんや國許の親から妾の保護願が出てしかも歸國旅費まで添て御説諭を聊つた譯だから頭からさん〳〵油をとられて目から火の出る程不孝もの〳〵お叱りを蒙つた揚句が直ぐに歸れとの御命令でもうこうなると逃げるわけにもならず仕方がないから妾の不心得を詫して兎に角明日出立して歸りますと譯に及んで引下り例の隨行員とつれたちてかへるみちすがら考へると不思議にも知れる筈のない居所が國の親達に知れ殊に場所が場所だから的切り妾が女郎にでも成つて居るように思つたので心配のあまり表向き保護を願はれたかと思ふと面目がなくつて國へ歸るのがいやで去り迚いつまでもなつて居る氣がしないから幸ひの機會を利用して雛屋を飛出し一旦神戸まで歸つた晩には又面白い風が吹くだらうと思案を定めて家へ戻ると皆一統のものが力を落す爺々は泣くと云ふ騒ぎサ彌々お別れの其夜はお話しにならん痴態を演じられたの♪翌日になつて♪を去るときに爺々だけが人車で新橋の停車場まで送つて來て泣て居るぢやあないか可愛うに今別れたらもう此世では妾を見ることが出來ない年だからねそのうち發車の時刻に成つて憔悴した体を神戸まで運ばれて顔の皮を百枚張り位にして淡路渡り久しぶりで我が家へ戻ると親は妾しのことを心配して病氣になつて居るので流石の妾しもア、わるかつたと後悔して只管不孝の罪をわびて見るといくら立腹して居たからつて實の娘しかも一番の末子だから可愛がられたのも一倍ゆへ無事に歸つて來た顔を見ると涙をこぼして喜んでくだされた親の心の有難さにしんから目が覺めてほろりとなつたのよ。

梅の家女將の引致

△娼妓を亂打して

遊廓取締規則の嚴重なるを口實に新町桃山中之新地等の樓主中には娼妓を虐待する事甚だ敷きものあるは屢々耳にする所なるが今中の新地梅の家に於ける事實を記せんに同樓に五六人の娼妓居る內に千郷と呼ぶ娼妓は一寸謐皮の剝けて客筋も相當なるより月々の揚高も割合に好成績なれば女將の氣に入り他の妓とは特に待遇を宜くし不公平の所置を爲し一般の仲居娼妓には粗食を與ふる等虐待する事甚だ敷きより一同の娼妓はストライキを起す事屢々なるが去る十六日の夜の事同樓にて席順一二を競ふ妓にて二葉と呼ぶ娼妓に馴染の客わり〳〵を女將は不心得にも千郷に横取りさしてやらんと惡策を廻らしたるを二三の妓之を看破し二葉に知らせしより二葉も大に立腹して一同とストライキを起せしに女將は娼妓を呼び付け一人一人に亂打せしにぞ遂に二葉は南大門派出所に駈け込み事情を訴へ出たるより早速樓主野村梅太郎及女將は引致され梅太郎は當時は其場に居らざりしことゝて訓戒放免され女將は今尚拘禁中にて事實の眞相を捜査中也と

女振り（二十五）

日曜樓女將　奥川しん女

日曜樓とは新町遊廓の貸座敷でムると事新らしく斷るにも當るまい樓主安次郎君の三度目の妻君だ、安次郎君何うも嗚ア運が善くなくて昨年中前の女房に死別れて以來淋しさに宿を立ち出でゝ近所を眺めるとナカ〳〵賑かなことで何處も同じ秋の夕暮でないのにツイ釣り込まれて他の樓に發展することチヨイチヨイに及ぶので自樓の締りが附かず一時紊亂の傾があつた昨年十二月娼妓抱への爲め東上中今のおしんさんを買ひ受け、否、相對談判の結果結婚して伴れ歸つた以來其の辣腕に依りて間もなく樓內は整理された、其の敏腕家たるおしんさんの前身はと云へば東京檜物町の藝妓屋の姐さんである、氣前の淡泊した妓樓扱ひに妙を得て居る、安次郎君は例の短氣者であるがおしんさん風の柳でフンワリと受け流して居る、同樓の花魁達が此の頃盛んに東京辯を振り回すのは即ち此の女將の口吻を眞似て居るのである、客扱ひの輕妙なることは前身の稼業柄であらう。

●膽取事件公判期

釜山膽取事件被告人僧侶井上香嶽、藤井顯證の上告事件は來る七月三十一日高等法院刑事部法廷に於て岩野判事裁判長となり淺見、牧山、鈴木、石川の四判事陪席藤檢事立會公判開廷せらる可しと

●無鑑太夫被檢擧

小料理店移轉地域は愈々新町桃山の外に移轉不許可となりしより五十餘軒の小料理店の行先きなく生活問題に困難を生ぜし爲め彼等は密淫賣に從事する者多く其の取締に付き當局の事務一層繁忙を來す事も豫想せしことなりしが第一着に密淫賣として檢擧されしは愛媛縣人當時黃金町飲食店壽亭にして樓主成瀬よ（？）ら方元酌婦福岡縣人福永スエ（十八）は二十日午前一時過ぎ馴染客なる明治町二丁目居住大工吉田某と金一圓五十錢の身代にて同衾中を警官に認められ酌婦及抱主は何れも拘留一日に即決

●仁川花柳界斷片

一富士の一昇は近頃丸髷姿でチヨイ〳〵出販け申候○○さんを生捕た腕前は流石一昇の値有之申候殿も先日八阪の宴會の席でイチヤツイたのはチト氣障に御座候▲鱗樓の福太郎は去十九日夜九時頃から朋輩一人と安保商店で買物して本町通りから支那町を通りぬけ水場附近へ遠征を試み居り申候▲八阪の桃太郎は山の手の○田鎗さんと好い變情に成たとの噂　相立申候

●煙草專賣法違犯

兵庫縣人當時日ノ出町居住ペンキ塗職中谷宇一郎は歸省に際し東亞煙草會社製朝日十箱及土古耳製金口煙草數箱を携帶し手荷物中に隱し居りたること發覺し告發され京城區裁判所に於て宮脇判事秋場檢事の係りにて二十日公判開廷されたり

●他人の妻を斬る

秋田縣人當時若草町一丁目八十三番戸栗林松治は隣家に住む中村松三郎方に至り空家借受けの事より刃物を以て松三郎の妻ハルヱに負傷せしめ南部署に引致取調中

●仁川の狂犬撲殺

十九日仁川牛角洞に於て朝鮮種の狂犬發生し處々を狂ひ居たるを矢野獸醫が認め早速撲殺したる由なるが未だ人畜に危害を加へざりしも最も傳播の憂ひありしと云ふ

●紙卷煙草の大賣出

京城太平町二丁目東光社（大漢門前）は去月中旬より多數職工を傭用し嶄新の機械を据付其原料を精撰し紙卷煙草の製造に着手し這回天鶏（二十本入二錢五厘）富貴（二十本入二錢五厘）富貴（二十本入六錢）の二種を市場に發賣したり天鶏は能く口付と兩切の華を取り舶來と和製の兩長所を兼ね富貴は特種の香味あり價廉にして包裝優美を極め大に愛煙家の歡迎を受けつゝあり聞く所に依れば該製造法は從來のソレに大改良を加へ黴菌除殺を施し或る化學的作用を以てニコチン毒を排去し居る故を以て健康上無害なりと因に同社は數名匿名組合なるが目下試驗中に屬し更に近日大規模の計畫を立ちつゝありと聞く尙近く同社獨特の技術を揮ひ京城、美人の二製品を發賣すべき筈なりと云ふ

●演藝だより

●壽座　片岡松之助一座初日御目見得狂言は『壽式三番叟』前狂言は『赤穗義士誠忠義士劇』大序より第十六場大切は「お目見得大だんまり」にて一座の面々大車輪にて相勤むべく重なる配役左の如し但し開場時間は午後正二時より晝夜打つ通しなりと尙正二時迄に入場の人は木戸無料となすべしと

三番叟、顔代御前、高師太夫、女房およし（片岡右衛門）萬里小路中納言、大石主稅、娘おかつ（片岡卯左衛門）稻谷平馬、中村右京、瀨田又之亟（山村右内匠、吉良上野之助、岡島八十右衛門、前野平內、母千壽院（淺尾奥山）勝田新左衛門、山坂甚內（片岡呂昇）宇都宮喜十郎、遠見藤左衛門、加古川本藏（片岡緑郎）寺坂吉右衛門（片岡長太郎）三番叟、桃井若狹之助、大野郡右衛門、片岡源五右衛門（中村飛雀）大石藏之助、淺野長矩、茅野三平（片岡松之助）

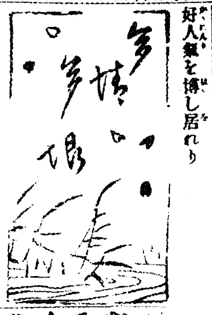
●浪花館　常磐、清元、浮世節、音曲、筑前琵琶、手踊、二〇加等にて非常の好人氣を博し居れり

廿一日より壽座に於て開演すべき

片岡松之助一座の演し物



京城藝妓の半生（卅九）



清華亭　三太（三）

彼れが光一、小寮、ほん太の三人と共に京城に來て、日本人俱樂部に住込むに付ても直ぐに千二百五十圓を借りて居たのだ、關所に居る內特別御贔負になつたのが當時大阪毎日新聞の特派員たりし現の民團議員中島司馬之助君であつた、翌四十一年十一月都合あつて清華亭に住み替ると間もなく當地粹士間に長唄嗜好會なるものが組織された、彼れは妹ほん太と共に驥尾に附して東西に奔走して其發展を資け粹士連を說き附けて東京から芳村の家元伊三郎を呼び下ました而して前にも述へた如くに之れに就いて勉强した結果、自分は伊壽惠と妹のほん太は伊三松と何れも名を許されたのであつた時の副統監曾彌荒助大人が京城の春の眺めは乙なものと駄句つて有象無象の荒膽を挫いだのも此の時代の事であつた、此の嗜好會が緣となり屢々統監邸へも出入する樣に成つたのである、三太曰く寵愛は寵愛で決して厭な關係は無かつたのですから、と、御叮嚀な御挨拶に痛み入らざるを得ない縱令何う云ふ關係があつたにしても記者は讀者諸君と共に決して異議はないのだもの。夫れは措き彼れが曾彌子の官邸に伺候し初めて愛妾八重子の方にお目通りをした時に其の意外なりしに驚いた、夫れは他でもない其の愛妾八重子の方こそ實に彼れとは筒井筒振分け髪の昔し友達であつて學校も一緒の同級生であつたのだ、懐かしいやら恥かしいやらに彼れは涙を零した八重子も思ひは同じで其の身は如何に安樂にあればとて多寡が妾である、此れから後は他人と思はず親しく爲よう力にも成らうと深く言ひ交はしたのであつた、夫れから後と云ふもの曾彌子のお引立を蒙ることも又以前に倍した、是より先き日本人俱樂部に居る時から、贔負になつた中島君との關係は清華亭に住み替へてからも繼續されてあつたのだが中島君の多情から遂に切れねばならぬ破目に陷つた、併し此の時の事情と此の時の樣子とを委しく書くのは面白くないから預りとして只此の手切れ話は京城ホテルで開かれ某々等四五の紳士が間に入つて顔を見合つて居ては話も仕惡くからうと云ふので、電氣を消して談判を進行さした事もあつたと云ふに徹して其の一方ならず込み入つてたのを推して頂くことにしよう、併し夫れ程にした談判も三太の要求は容れられず其のまゝグツ〳〵で今日も其の儘になつて居るのだと云ふ、而して三太は此れが後にも前にも當地へ來てから只一つの情事だと云つて居る『貴方の所謂艷ァですもの誰れが關い人があるものですか』と自分の都合に依つては他の營業尻を捉ねて嫌さんに成り濟ます所謂底一筋縄で行く女でない、現在の客筋夫れは云はぬが花として置いて扨東京に殘つて居る筈の和田夫れは何うして居るであらうか今の三太には關係のないことゝして筆を擱かう。

●諸公債諸株券現物賣買

迅速確實に御取扱可申候
京城本町三丁目
大阪野村徳七代理店 田中友吉商店
電話九九三番

★株式會社 百三十銀行京城支店
電話百九十四番・五十八番
振替貯金口座 一二三番

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道 津、東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、名古屋、岡崎、濱松、半田、桑名、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、銚山

東山道 彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納

北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉

山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山

南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、見塚、串本、高松、坂出、豊濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、郡中

西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎

北海道 小樽、函館、札幌、旭川

台灣 臺北、臺南

樺太 大泊

朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、開城、淸州、大田、金泉

淸國 安東縣

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

弦齋流割烹
よ津彌
南山町一丁目
電話千五百二番



目薬
田春
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四、一〇六八
振替口座京城 十六番



人間は一晝夜に約
一千二百九十五萬センチメートルの空氣を呼吸す
今帝國醫科大學專科に於て東京市中六十三ケ所の空氣を試驗したるに一立方メートル中二萬一千四百餘の黴菌が居る!!
さすれば人間は一晝夜に五十五萬二千有餘の
黴菌を呼吸する譯である
故に殺菌的偉效を有する
口中香水
カオール
を口中することが必要である
益々人に接する時
疲勞した時 飲食の前後
遠足運動會 群集人込中
等には必ず口中なさい 惡疫流行の時

新案特許瓶形	廿五錢
新案特許筒形	卅錢
袋入 五錢	十錢
詰入 廿錢	五十錢

象印歯磨本舗
東京日本橋區水天宮前
本舗 安藤井筒堂
特約店 京城南大門通
新井大藥房

韓國銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 壹參壹番 六拾貳番 貳六〇番 貳六壹番
支店出張所（大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

野田歯科專門醫院
京城本町二丁目百三十銀行横
電話一〇四七番

嶄新建築材料
◎マルソイト便利瓦
◎石綿セメント瓦
◎P&B建築用紙
◎P&Bフエルト
◎P&Bアスファルト
◎吉田木材防腐劑
◎特許自働窓框止
◎建築用金物類
◎壁紙及硝子紙
◎リノリユーム敷物
◎鋼鐵中心飾
◎鋼鐵打出天井板
東京 藤原京城支店
京城永樂町二丁目
（電話一八九番）
工事見積等は懇切に御相談に可應候間御用の節は御一報被下度候

牛乳の大王
朝鮮總督府醫院特定御用
平山牧場
京城大和町一丁目
電話一二三番

酒精アルコール
●新荷着
坂倉支店
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

義歯術一般
榊歯術所
京城明治町一丁目（森、村賀店隣）
電話は（六六九番）へ

土地建物鑛山株券賣買
一擔保及確實なる債權に對し低步貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本余賣物あり
一市内適當の場所にて印刷業老舗機械附屬品全部讓り物あり
一良質ノ石綿山黒鉛鑛步止まり好き金鑛賣物あり
一水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一電話賣物あり
小林藤商店
京城明治町三丁目
電話六五五番



淺田飴
肺病より起るせき
のどの病
聲を發せしむ
貧血性諸症
本舗 東京 大阪 堀内
良藥にして口に甘し

京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八番 九〇四番
振替口座京城十六番

蒸溜消毒牛乳
京城青葉町五十番戸の一
廣養舍 細川牧場
（電話一三六六番）



毒滅
DOKUMETSU
つよき人
朝晩のめ
梅毒新藥
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座京城十六番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良 高等牛乳
荒井牧場
京城南大門外
（電話一〇五六番）
龍山販賣所
龍山本町三丁目
（電話二〇二番）

DIGESTIN
新消化藥デゲステン
日、英、米、獨、佛、伊、白、印、加、濠、墺、瑞、十三ケ國 專賣特許
政府特許
▲銀賞牌受領！（發明品博覧會日英大博覧會に於て）
發賣元 合資會社 圓城商會
東京市日本橋區本町三丁目

專賣局販賣品
土耳古
口金莨卷紙
SKS
エスケーエス
特約販賣店
京城辻屋 龍山貴田 木浦沖永 馬山西川 公州中芝
平壤富昌洋行 鎮南浦宇津木



On Sale in all Parts of Japan.
BE SURE YOU GET "EAGLE BRAND"
鷲印
コンデンスミルク
米國紐育市ボーデン煉乳會社



喜谷
實母散
東京中橋
本家 喜谷市郎右衛門
朝鮮代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房

新荷着
浪平板
洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
和洋 金物商
佐野彦藏商店
京城本町貳丁目
電話一六三番
振替口座京城一二〇番

健胃固腸丸
くだり病一切の特効藥
主な効能
●赤痢病コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に服用すれば朝夕五粒づゝ服用すれば腸胃の疾病を治し食物の消化を助くす
藥價 貳十粒入 五錢 六十五粒入 拾錢 百粒入 貳十錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓
本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
本劑につき謹告 偽物にまぎれぬ様商標と谷回春堂とに御注意を
大阪市東區伏見町 堺筋角
本舗 谷回春堂
（電話東四五八番）
（振替貯金番號八三〇）
代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話一〇六八番 九〇四番
振替口座京城十六番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

定期出帆廣告
全 芙江 公州 間
芙江發毎日午前七時公州着後四時 公州發毎日午前十一時四十分公州着後六時
御客様の御便利として新聞雜誌將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 汽船出帆廣告
六月中
海州 安東丸 廿日、廿四日
海州丸 廿二日
安東丸 廿六日、三十日
濃洋富里浦屯串行
三吉里海倉倡島行 三吉丸 廿二日、廿四日
盛敷丸
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町四丁目
電話一七三番 七五〇番